※ゴシック表記部分は、子どもとともに考えた条文です。

|   |  | <u>※ゴシック表記部分は、子ど</u><br> |            |
|---|--|--------------------------|------------|
| 改正条例(案)  はんりじょうれい   | 改正条例(素案)   | 現行条例                     | 素案から案への変更点 |
| 世田谷区子どもの権利条例  | 世田谷区子どもの権利条例   | 世田谷区子ども条例                |            |
| ~vretv ねん がつ か じょうれいだい ごう<br>平成13年12月10日条 例第64号                           | へいせい ねん がつ か じょうれいだい ごう<br>平成13年12月10日条 例第64号                        | 平成13年12月10日条例第64号        |            |
| 改正  | 改正   | 改正                       |            |
| マルせい ねん がつ か じょうれいだい ごう 平成24年12月10日条 例第82号                                | へいせい ねん がっ か じょうれいだい ごう<br>平成24年12月10日条例第82号                         | 平成24年12月10日条例第82号        |            |
| へいせい ねん がっ か じょうれいだい ごう<br>平成26年3月7日条例第14号                                | ~いせい ねん がっ かじょうれいだい ごう<br>平成26年3月7日条例第14号                            | 平成26年3月7日条例第14号          |            |
| れいわ ねん がつ かじょうれいだい ごう<br>令和2年3月4日条例第11号                                   | れいわ ねん がつ かじょうれいだい ごう<br>令和2年3月4日条例第11号                              | 令和2年3月4日条例第11号           |            |
| れいわ ねん がつ にちじょうれいだい ごう 令和7年○月○日条例第○○号                                     | れいわ ねん がっ にちじょうれいだい ごう<br>令和7年○月○日条例第○○号                             |                          |            |
| もくじ<br>目次   | <br>もくじ<br>目次  | 目次                       |            |
| 前文  | 世んぶん 前文  | 前文                       |            |
| #   | だい しょう そうそく だい じょう <b>だい じょう</b><br>第1章 総則(第1条一 <mark>第3条</mark> )   | 第1章 総則(第1条—第8条)          |            |
| 第2章 子どもの権利(第4条一第9条)   | 第2章 子どもの権利(第4条 - 第9条)  | 【新設】                     |            |
| 第3章 子ども・子育てを支え合う地域づくり(第10条  | 第3章 子ども・子育てを支え合う地域づくり(第10条 -   | 【新設】                     |            |
| 一第14条)  | だい じょう<br>第14 条 )  |                          |            |
| だい しょう きほん せいさく だい じょう だい じょう 第 4 章 基本となる政策(第15 条 —第24 条)                 | 第4章 基本となる政策 (第15条一第24条)  | 第2章 基本となる政策(第9条―第14条)    |            |
| だい しょう こ けんりょうご だい じょう だい じょう<br>第 5 章 子どもの権利擁護(第25 条 —第35 条)             | 第 5 章 子どもの <u>権利擁護(第25 条 —第35 条)</u>                                 | 第3章 子どもの人権擁護(第15条―第24条)  |            |
| ## だい しょう すいしんけいかく すいしんたいせい ひょうかけんしょう だい じょう 第6章 推進計画・推進体制・評価検証など (第36条 — | だい しょう すいしんけいかく すいしんたいせい ひょうかけんしょう だい じょう 第6章 推進計画・推進体制・評価検証など(第36条- | 第4章 推進計画と評価(第25条・第26条)   |            |
| 第39条)   | ガン じょう<br>第39 条 )  | 第5章 推進体制など(第27条―第31条)    |            |
| # tin Laj do at n Caj<br>第7章 雑則(第40条)                                     | だい しょう ざっそく だい じょう<br>第7章 雑則 <u>(第40条)</u>                           | ずっそく<br>第6章 雑則(第32条)     |            |
| が   | <del>                                    </del>                      | が<br>sec<br>附則           |            |
| M1323   | HIXA   | MANA                     |            |
|   |  |                          |            |
|   |  |                          |            |
|   |  |                          |            |
|   |  |                          |            |
|   |  |                          |            |
|   |  |                          |            |
|   |  |                          |            |
|   |  |                          |            |
|   |  |                          |            |
|   |  |                          |            |
|   |  |                          |            |
|   |  |                          |            |
|   |  |                          |            |
|   |  |                          |            |

| 改正条例(案)   | 改正条例(素案)   | 現行条例  | 別紙2   |
|---|--|---|---|
| 前文  | 前文   | 511未例   | 来来から来への多丈点  |
| ii 文<br>( <u>字どもの意見表明)</u><br>1. 子どもの <u>思い</u>   | n ス<br><u>(予どもの想い)</u>   | 子どもは、未来への「希望」です。将来へ向けて<br>社会を築いていく役割を持っています。  | ◆前文の「子どもの思い」、<br>「大人へのメッセージ」<br>(子どもとともに考え                                    |
|   | <u>世苗谷のまちが好きです。</u>  | 子どもは、それぞれ一人の人間として、いかなる<br>差別もなくその尊厳と権利が尊重されます。そし<br>て、心も身体も健康で過ごし、個性と豊かな人間性<br>がはぐくまれる中で、社会の一員として成長に応じ  | る部分) については、子<br>ども条例検討プロジェ<br>クト後期検討会(10月24                                   |
| が <mark>私たちは、</mark> 自分の意見や <mark>態い</mark> を受け <u>とめて</u> もらったと<br>き、 <mark>喜び</mark> を <mark>感じます。</mark> |  | た責任を果たしていくことが求められています。<br>平成6年、国は、「児童の権利に関する条約」を<br>結びました。そして、世田谷区も平成11年に「子ど  | 日~11月21日)において、条例(素案)へ寄せられた意見を踏まえた   |
| きれいで自然豊かな世田谷を守っていきたいです。 <a href="#"></a>  | きます。   | もを取り巻く環境整備プラン」を定め、子どもがすこやかに育つことのできる環境をつくるよう努めてきました。子どもは、自分の考えで判断し、行動していくことができるよう、社会における役割や責任を自覚し、自ら学んでいく姿勢を持つことが大切です。大人は、子どもが能力を発揮することができるよう、学ぶ機会を確保し、理解を示すとともに、愛 |   |
| 字ども同士が交流し、つながる機会を増やしたいです。 安心できる場所 <mark>を増やしたいです</mark> 。 自由に、 <u>やりたいことにチャレンジして、</u> 学びを深め、<br>成長していきたいです。 | 子ども同士が交流し、つながることを増やしたいです。<br><u>安心できる場所にいることで幸せを感じることができます。</u><br>自由に、学びたいことを探求したいです。 | 情と厳しさをもって接することが必要です。<br>このことは、私たち世田谷区民が果たさなければならない役割であると考え、子どもが育つことに喜びを感じることができる社会を実現するため、世田谷区は、すべての世田谷区民と力を合わせ、子どもがすこやかに育つことのできるまちをつくることを宣言して、この条例を定めます。         | ては「想い」、大人は「思い」という整理をしていたが、子どもの願い、不安、悩み、喜び、悲しみ、望みなども含めた子どもの意思を受けとめる必要があると考え、「思 |
| 大人に意見や <mark>悪い</mark> を届けたいです。   | 大人に意見や想いを届けたいです。  「当然の意見や想いを大人に受け入れてもらったとき、幸   |   | い」の表記に統一した。   |
| こんな <sup>診ち</sup> いがかなう世田谷にしたいです。   | <u>せを感じることができます。</u><br>   |   |   |
|   |  |   |   |
|   |  |   |   |
|   |  |   |   |

| 九十夕/bl /安\   | 75. T. Ø (A) (主 字)                                   | TB 仁 友 /DI | 別紙2                        |
|--|--|------------|----------------------------|
| 改正条例(案)  | 改正条例(素案)   | 現行条例       | 素案から案への変更点                 |
| 3 + L A C A A A A A A A A A A A A A A A A A                              | (a) C (a) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c |            | ◆前文の「子どもの思い」、              |
| 2. 大人へのメッセージ   | (犬人へのメッセージ)  |            | 「大人へのメッセージ」                |
| 大人世代の「あたり前」は、  |  |            | (子どもとともに考え                 |
| 予ども世代の「あたり前」 <mark>とは違います。</mark>  |  |            | る部分) については、子<br>ども条例検討プロジェ |
| 大人たちには、自分が子どもだった時の気持ちを思い出  |  |            | クト後期検討会(10月24              |
| して、予どもと <mark>筒じ曽線に立って</mark> 尚き合ってほしいです。                                |  |            | 日~11月21日) におい              |
| 予どもはきっとこう感じて <mark>いるという</mark> 決めつけ                                     |  |            | て、条例(素案)へ寄せ                |
| <u>ではなく、<mark>私たちの</mark>言葉や<mark>態い</mark>を信じてください。</u>                 |  |            | られた意見を踏まえた                 |
| ことげ おも. う うえ か あ   | わたし、 ことば おも う  |            | 検討を行い、子どもたち<br>の思いが正しく伝わる  |
| <u>そして、言葉や<mark>態い</mark>をしっかり受けとめ<u>た上で向き合って</u></u>                    | 私たちの言葉や想いをしっかり受けとめ、「否定」じゃなく、<br>ニラマエル                |            | ように、条文に込めた意                |
| <u>ください。</u>   | 「肯定」してください。  |            | 味を改めて考え、表現を                |
|  |  |            | 修正した。                      |
| <u>みんなが</u> 意見や <mark>態い</mark> を尊重し <mark>合って</mark> 、何かを恐れずに、自由        | 大人たちに意見や想いを尊重してもらえて、何かを恐れず                           |            |                            |
| c発言や表現できる環境が欲しいです。   | たいは、<br>に、自由に発言や表現できる環境がほしいです。                       |            |                            |
| に元日で収売できる状況が成びいてす。   | に、日田に元日で牧坑できる塚坑がありでもす。                               |            |                            |
|  | まとなせだい<br>大人世代の「あたり前」は、子ども世代の「あたり前」じゃない。             |            |                            |
|  | まとな<br>大人たちには、自分が子どもだった時の気持ちを思い出して、                  |            |                            |
|  | 子どもと対等に向き合ってほしいです。                                   |            |                            |
|  | <u>子どもはきっとこう感じているっていう決</u> めつけじゃなく                   |            |                            |
|  | て、本人の言葉や想いを信じてください。                                  |            |                            |
|  |  |            |                            |
| している。<br>個性 <mark>が</mark> 認め <u>られ</u> 自分らしく生きたいので、多様性が <mark>尊重</mark> | った。<br>個性を認めてもらい、自分らしく生きたいので、多様性が認                   |            |                            |
| <u>されること</u> が必要です。  | められる機会や空間が必要です。                                      |            |                            |
| 好奇心がくすぐられる体験、機会など、ワクワクを育ちや   | データーである。<br>好奇心がくすぐられる体験、機会など、ワクワクを育ちや学              |            |                            |
| 学びに取り入れてほしいです。   | <u>びに取り入れてほしいです。</u>                                 |            |                            |
| すべての子どもが安心でき、教育を受けられる多様な   | すべての子どもが安心でき、教育を受けられる多様な                             |            |                            |
| 環境が欲しいです。  | 環境が必要です。   |            |                            |
|  |  |            |                            |
| いろんな不安を <mark>も</mark> っている子どもの味方になってくれる                                 | いろんな不安を持っている子どもの味方になってくれる人                           |            |                            |
| 人がいる場所を <mark>増やして</mark> ください。  | <u>がいる場所をつくってください。</u>                               |            |                            |
| 「できるかできない <u>か</u> 」 <u>だけを<mark>見るのではなく、「やってい</mark></u>                | 「できるかできない」じゃなく、「やったかやっていない」で                         |            |                            |
| る <mark>変」も見てください。</mark>  | <u>評価し、がんばったことをほめてください。</u>                          |            |                            |
| ┃  | がたしたがどんな進路を選んでも、一人ひとりに合わせた                           |            |                            |
| はたった。 これがは には こと これ これ こうに これ これ これ これ こうえん これ                           | <sub>おうえん</sub><br><mark>応援をしてください。</mark>           |            |                            |
|  |  |            |                            |

|   |  |      | 別紙2   |
|---|--|------|---|
| 改正条例 (案)  | 改正条例(素案)   | 現行条例 | 素案から案への変更点  |
| (区や大人の決意表明)<br>子どもは、生まれながらにして今を生きる権利の主体です。  | (区や大人の決意表明)<br>子どもは、生まれながらにして今を生きる権利の主体で<br>す。   |      | ◆子どもの思いに応えるため、前文の「区や大人の決意表明」(大人が記載する部分)の内容を充実させ         |
| 子ども時代に、周囲の人に意見や思いを受けとめてもらった経験は、子どもの安心や自信につながり、その後を生きる大きな力となります。  ***********************************                                | わたし<br>私たち区や大人は、子どもの想いを大切に受けとめ、で   |      | た。 ◆子どもの権利の実現に向けて、大人が子どもたちに伝えるべき視点や、地域の中で子どもを育む視点を記載した。 |
| どもにとって一番よいことは何かを真剣に考え、対話し、  | きる限り応えていくことを約束します。   |      |   |
| とは、社会における責任ある生活を送る上で、大切なお互いの権利の尊重や、信頼関係の構築につながります。  本たち区や大人は、今と未来をつくるパートナーである 子どもの声を聴き、対話しながら、地域が子どもを支え、 子どもが地域を豊かにし、誰もがつながり支え合う地域で |  |      |   |
| この条例は、日本国憲法、子どもの権利条約(平成   | そして、日本国憲法、子どもの権利条約(平成元年11月<br>20日に国際連合総会で採択された「児童の権利に関する<br>にようやく<br>条約」をいいます。)と、こども基本法の理念に基づき、<br>子どもが権利の主体として、一人ひとりの子どもが豊かに<br>ではようと、<br>ではようとして、一人ひとりの子どもが豊かに<br>をはしまうとが保障され、自分らしく幸せな今を生き、明日か |      |   |
| とりの子どもが豊かに育つことが保障され、自分らしく幸せな今を生き、明日からもよい日と思える社会を実現していきます。   | らもよい日と思える社会を実現することを宣言し、この 条例を制定します。  |      |   |
|   |  |      |   |

| 改正条例 (案)  | 改正条例 (素案)  | 現行条例                           | 別紙2 素案から案への変更点                  |
|---|--|--------------------------------|---------------------------------|
| ーだい しょう そうそく<br>第1章 総則  | ー だい しょう そうそく<br>第1章 総則  |                                |                                 |
| じょうれいせいてい しゅし<br>(条例制定の趣旨)  | じょうれいせいてい しゅし<br>(条例制定の <mark>趣旨</mark> )                        | (条例制定の理由)                      |                                 |
| だい じょう じょうれい こ けんり あ まえ ほしょう<br>第1条 この条例は、子どもの権利が当たり前に保障され  |  | 第1条 この条例は、子どもがすこやかに育つことが       |                                 |
| る文化をつくり、一人ひとりの子どもが、今を自分らしく  | 文化をつくり、一人ひとりの子どもが、今を自分らしく幸                                       | できるよう基本となることがらを定めるものです。        |                                 |
| <sup>しあわ</sup> い  | せに生きて、明日に希望を抱きながら、豊かに育つことがで                                      |                                |                                 |
| ができる社会をつくるための基本的な <mark>事柄</mark> を定めるもの  |  |                                |                                 |
| です。   | to   |                                |                                 |
| (言葉の意味)   | (言葉の意味)  | (言葉の意味)                        |                                 |
|   | だい じょう この条例において「子ども」とは、 <mark>次の人のことを</mark>                     | 第2条 この条例で「子ども」とは、まだ18歳になっ      |                                 |
| をいいます。  | いいます。  | ていないすべての人のことをいいます。             |                                 |
| (1) まだ18歳になっていないすべての人<br>じょうれい とゅと、きょう  | <u>(1)</u> まだ18歳になっていないすべての人                                     |                                |                                 |
| (2)この条例の趣旨を <mark>踏まえ</mark> 、まだ18歳になっていないす<br><sup>ひと どうとう けんり みと</sup><br>べての人と同等の権利を認めることが適当であると認め | (2) この条例の趣旨をふまえ、まだ18歳になっていないす                                    |                                |                                 |
| 71  |  |                                |                                 |
| られる人  | <u>れる人</u> じょうれい ちょうな かこ こ                                       | 【新設】                           |                                 |
| 7 \ \ \   | 2 この条例において「大人」とは、過去に子どもであった                                      | 【 秒 Ⅰ 頁义 】                     |                                 |
| すべての人のことをいいます。<br>3 この条例において「保護者」とは、子どもの親や祖父母、  | すべての人のことをいいます。   | 【新設】                           |                                 |
| ナレかめ ケー かめ か トカロノ ひし  | ナレかめ たっ かめ か トラロノ かし   | 【                              |                                 |
| 里親その他子どもの親に代わり養育する人のことをいい<br>ます。  | <u>里親その他子どもの親に代わり養育する人のことをいいま</u>                                |                                |                                 |
|   | - <del>1 c c c c c c c c c c c c c c c c c c </del>              | 【新設】                           | ◆素案では「事業者」は「団                   |
| かか だんたい こ かか じぎょうしゃ くない に関わる団体・子どもに関わる団体・子どもに関わる要業者」とけ 区内におい  | ただという。 とは、区内において、子どもが育ち、学び、                                      |                                | 体」に含まれる整理をし                     |
| て、子どもが育ち、学び、活動したり、過ごしたりするこ  | かつどう す ばしょ   |                                | たが、わかりやすい表現                     |
| とができる場所やこれらを支援する組織団体・法人のこと  | しえん そしまだんたい<br>支援する組織団体のことをいいます。                                 |                                | とするため「子どもに関<br>わる事業者」、「事業者」     |
| をいいます。  |  |                                | をそれぞれ記載した。                      |
| この条例において「区民・団体・事業者」とは、子ども   | <sup>じょうれい</sup><br>5 この条例において「区民・団体」とは、子どもが地域の                  | 【新設】                           |                                 |
| が地域の中で関わる多様な大人や子ども、地域で活動する  | なか、かかかったよう。おとなって、ちいき、かつどう そしきだんたい<br>中で関わる多様な大人や子ども、地域で活動する組織団体の |                                |                                 |
| <sup>そしきだんたい ほうじん</sup><br>組織団体 <u>・法人</u> のことをいいます。  | <u>ことをいいます。</u>  |                                |                                 |
| 6 この条例において「区」とは、区長部局のほか、教育  | 6 この条例において「区」とは、区長部局のほか、教育                                       | 【新設】                           |                                 |
| いいんかい ぎょうせいいんかい ふく しっこうきかん 委員会などの行政委員会も含めたすべての執行機関のこ  | いいんかい ぎょうせいいいんかい ふく しっこうきかん 委員会などの行政委員会も含めたすべての執行機関のこと           |                                |                                 |
| とをいいます。   | <u>をいいます。</u>  |                                |                                 |
| じょうれい もくひょう (条例の目標)   | じょうれい もくひょう<br>(条例の目標)<br>だい にゅう じょうれい オイカトラ                     |                                | ◆子ども条例検討プロジェ                    |
| だい じょう じょうれい もくひょう つぎ<br>第3条 この条例の目標は、次のとおりとします。  | だい じょう じょうれい もくひょう<br>第3条 この条例 <u>の目標</u> は、次のとおりとします。           | 第3条 この条例が目指す目標は、次のとおりとしま<br>ナ  | クト後期検討会(10月24<br>日~11月21日)において、 |
| こ かんが ひとり えがお じぶん<br>(1)ファミュン 共 ニップ   | (1) 子どもが 考 える「みんなが自分らしくチャレンジでき                                   | 9。<br>(1) 子ども一人ひとりが持っている力を思い切り |                                 |
| (1)子どもが 考 える「 <u>一人ひとり</u> か <u>笑顔で</u> 目分らしくナヤレ<br>  ンジ <mark>できる</mark> まち」をつくります。                  | えがお  | 輝かせるようにする。                     | した。                             |
|   | <u>笑顔になれるまち」をつくります。</u>  |                                |                                 |

| 改正条例 (案)   | 改正条例 (素案)   | 現行条例   | 別紙2<br>素案から案への変更点   |
|--|---|--|---|
| (2)子どもは、生まれながらにして今を生きる権利の主体であり、自分らしく、幸せに生きる権利をもっています。私たち区や大人は、子どもの思いや意見を受けとめ、子どもともに、子どもにとって最もよいことを考え、実現していきます。 (3)子どもが身を置くあらゆる場において、子どもに関わるあらゆる人によって、子どもの権利が当たり前に保障され、子ども自身が子どもの権利を実感できる文化と社会をつくり出し、発展させ、継承していきます。   | (2) 子どもは、生まれながらにして今を生きる権利の主体であり、自分らしく、幸せに生きる権利をもっています。私たち区や大人は、子どもの想いや意見を受けとめ、子どもとともに、子どもにとって最もよいことを考え、実現していきます。 (3) 子どもが身を置くあらゆる場において、子どもに関わるあらゆる人によって、子どもの権利が当たり前に保障され、子ども自身が子どもの権利を実感できる文化と社会をつく | (2) 子どもがすこやかに育つことを手助けし、子<br>どものすばらしさを発見し、理解して、子育ての<br>喜びや育つ喜びを分かち合う。 |   |
| 第2章 子どもの権利  (基本となる権利)  (基本となる権利)  だい ひょう でいせいがんねん (1989年) 11月20日に国際連合総会で採択  された「児童の権利に関する条約」(以下「子どもの権利  じょうゃく 条約」といいます。)に定める4つの一規原則をもとに、 次に掲げる権利を定めます。これらの基盤となる権利は、 など、対したり、上のより、上のは、上のは、大きないでは、ないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、いはないでは、いきないでは、いきないは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、はないでは、いきないでは、い | 「児童の権利に関する条約」(以下「子どもの権利条約」といいます。)に定める4つの一般原則をもとに、次に掲げる権利を定めます。これらの基盤となる権利は、すべての子どもに保障されなければなりません。   | <ul><li>【新設】</li><li>【新設】</li></ul>                                  | ◆子どもの権利を実現するための政策の実施にあたり区が配慮すべきことを具体的に記載した。                                 |
| は、子どもにとって最もよいことが何かを考えられる<br><sup>† ルッ</sup><br>権利<br>(3) 生きる権利と成長・発達する権利   | (1) いかなる理由でも差別されない権利 (2) 子どもに関係のあることが決められ、行われるときは、 子どもにとって最もよいことが何かを考えられる権利 (3) 生きる権利と成長・発達する権利   | 【新設】<br>【新設】   |   |
| (4) 自分に関係のあることについて、自由に自分の意見や<br><u>思い</u> を表明する権利<br>(自分らしくいられる権利)<br>第5条 子どもは、自分らしくいられます。そのためには、<br>主に次に掲げる権利が保障されなければなりません。<br>(1)自分らしくいられ、個性が尊重される権利  | ず、自由に自分の意見や想いを表明する権利<br>(自分らしくいられる権利)   | 【新設】<br>【新設】<br>【新設】   | ◆第5条~第9条については、子ども条例検討プロジェクト後期検討会(10月24日~11月21日)において、条例(素案)へ寄せられた意見を踏まえた検討を行 |

別紙2

| 改正条例(案)  | 改正条例 (素案)  | 現行条例            | 別紙2<br>素案から案への変更点        |
|--|--|-----------------|--------------------------|
| (豊かに過ごす権利)   | ゅた けんり<br>(豊かに過ごす権利)   | 【新設】            | い、子どもたちの思い               |
| だい じょう こ<br>第6条 子どもは、様々な経験を通して、自分を豊かに                          | だい じょう こ きまざま けいけん とお じぶん ゆた せいちょう<br>第6条 子どもは、様々な経験を通して、自分を豊かに成長・   | 【新設】            | が正しく伝わるよう                |
| tyv5ょう はったっ<br>成長・発達させることができます。そのためには、主に次                      |  |                 | に、条文に込めた意味<br>を改めて考え、表現を |
| た掲げる権利が保障されなければなりません。  | 権利が保障されなければなりません。  |                 | 修正した。                    |
| (1)今も将来も豊かに生きることができる権利   | (1)今も将来も豊かに生きることができる権利   | 【新設】            |                          |
| (2)自分のやりたいことを追求できる権利   | (2)自分のやりたいことを追求できる権利   |                 |                          |
| (3)慧い切り遊び、自分にとって楽しいことをする権利                                     | (3)慧い切り遊び、自分にとって楽しいことをする権利   |                 |                          |
| (4)自分が知りたい情報を得られる権利  | (4)自分が知りたい情報を得られる権利  |                 |                          |
| (5) 心や身体が疲れた時に休息することができる権利                                     |  |                 |                          |
| (社会から守られ、支援を受ける権利)   | (社会から守られ、支援を受ける権利)   | 【新設】            |                          |
| 第7条 子どもは、安心して過ごすため、社会から守られ、                                    | 第7条子どもは、安心して過ごすため、社会から守られ、   | 【新設】            |                          |
| 支援を受けることができます。そのためには、主に次に掲                                     | <sup>しぇん</sup><br>支援を受けることができます。そのためには、主に次に掲   |                 |                          |
| げる権利が保障されなければなりません。  | げる権利が保障されなければなりません。  |                 |                          |
| (1) <mark>安全で安心して<mark>生きる</mark>ことができる権利</mark>               | (1)安全で安心して過ごすことができる権利  | 【新設】            |                          |
|  | (2)生存に関する権利  |                 |                          |
| (2)健康 <mark>に</mark> 暮らせる権利                                    | (3)健康で暮らせる権利   |                 |                          |
| tuかつかんきょう しぜんかんきょう まも けんり<br><mark>(3)</mark> 生活環境と自然環境が守られる権利 | (4)生活環境と自然環境が守られる権利  |                 |                          |
| (自分で自分のことを決める権利)   | (自分で自分のことを決める権利)   | 【新設】            |                          |
|  | 第8条 子どもは、自分に関することを自分で決めることが  | 【新設】            |                          |
| ができます。そのためには、主に次に掲げる権利が保障さ                                     | できます。そのためには、主に次に掲げる権利が保障されな  |                 |                          |
| れなければなりません。  | ければなりません。<br>さまざま ちょうせん しっぱい けんり   |                 |                          |
| じぶん せんたく じゆう じ こけってい けんり                                       | (1)様々なことに挑戦して失敗できる権利   | 【新設】            | 0                        |
| (1)自分で選択して自由に自己決定できる権利   | (2)選択して自己決定できる権利   |                 |                          |
| (2)自分らしく学び、成長・発達できる権利  | (3)自分らしく学び成長・発達できる権利   |                 |                          |
| (3)様々なことに挑戦して失敗できる権利   | 1) († 1 ) | - · · · · · · - |                          |
| いけん ひょうめい さんか さんかく けんり (意見を表明し、参加・参画する権利)                      | いけん ひょうめい さんか さんかく (意見を表明し、参加・参画することができる権利)  | 【新設】            |                          |
| だい じょう こ<br>第9条 子どもは、自分の意見や <mark>思い</mark> を表明し、自分に関          | さんか さんかく むむ  | 【新設】            |                          |
| わることに参加・参画することができます。そのためには、                                    | ることに参加・参画することができます。そのためには、主  |                 |                          |
| まも つぎ かか けんり ほしょう 主に次に掲げる権利が保障されなければなりません。                     | できょうか けんり ほしょう に次に掲げる権利が保障されなければなりません。   | I òr =n. I      |                          |
| (1)意見 <u>や思い</u> を様々な方法で表すことができる権利                             | (1) <u>意見を表明できる権利</u><br><sub>たいわ</sub> きょうどう けんり  | 【新設】            |                          |
| (2)対話をして協働する権利 ちいき さんかく けんり                                    | (2) <u>対話をして協働する権利</u><br><sub>ちぃき さんかく けんり</sub>  |                 |                          |
| (3)地域に参画する権利   | (3)地域に参画する権利   |                 |                          |
|  |  |                 |                          |
|  |  |                 |                          |

| 改正条例 (案)  | 改正条例 (素案)   | 現行条例  | 別紙2                       |
|---|---|---|---------------------------|
| 第3章 子ども・子育てを支え合う地域づくり   | 第3章 子ども・子育てを支え合う地域づくり   | 【新設】  |                           |
| ほごしゃ やくわり<br>(保護者の役割など)   | はごしゃ やくわり<br>(保護者の <mark>役割など</mark> )  | (保護者の務め)  |                           |
| 第10条 保護者は、子どもの権利を守るため、子どもにと   | 第10条 保護者は、子どもの権利を守るため、子どもにとっ  | 第4条 保護者は、子どもの養育と成長について責任                            |                           |
| って最もよいことを第一に考え、子どもの意見を聴き、   | て最もよいことを第一に考え、子どもの意見を聴き、そ   | があることを自覚し、ふれあいの機会を大切にして、<br>子どもがすこやかに育つよう全力で努めなければな |                           |
| その実現に向けて子どもに寄り添い、成長・発達を支え、<br>この実現に向けて子どもに寄り添い、成長・発達を支え、<br>こともの身近な安全基地となる大切な役割を担います。 | の実現に向けて子どもに寄り添い、成長・発達を支え、子<br>を表すか あんぜん き ち<br>どもの身近な安全基地となる大切な役割を担います。                                       | りません。   |                           |
| 2 保護者は、子どものためを思い、良かれと思ってするこ   |   | 【新設】  |                           |
| とが、子どもの意思に反していたり、成長・発達の機会を  | が、子どもの意思に反していたり、成長・発達の機会を奪  |   |                           |
| 奪うことになってい <u>たりし</u> ないかを、子どもの意見や <mark>思い</mark>                                     | うことになっていないかを、子どもの意見や想いを聴きなが   |   |                           |
| を聴きながら、子どもとともに、考えます。 3 保護者自身も安心して、自分らしく、幸福であることが                                      | <u>ら、子どもとともに、考えます。</u><br>3 保護者自身も安心して、自分らしく、幸福であることが   | 【新設】  |                           |
| たいせつ ほごしゃ ちいき こそだ きさ ひつよう しえん<br>大切です。保護者は地域で子育てを支えられ、必要な支援                           |   |   |                           |
| を受ける権利が保障されます。  | ラける権利が保障されます。   |   |                           |
| (学校、子どもに関わる施設・子どもに関わる団体 <u>・子ども</u>   | $\frac{\vec{k} \cdot \vec{k} \cdot \vec{k}}{\vec{k} \cdot \vec{k} \cdot \vec{k}}$ (学校、子どもに関わる施設・子どもに関わる団体の責務) | (学校の務め)   | ◆第12条の「事業者」の定義            |
| に <mark>関わる事業者</mark> の責務)  |   |   | を整理したことに伴い、               |
| だい じょう がっこう こ かか しせっ こ かか だんたい<br>第11条 学校、子どもに関わる施設・子どもに関わる団体 <u>・</u>                | だい じょう がっこう こ かか しせっ こ かか だんたい<br>第11条 学校、子どもに関わる施設・子どもに関わる団体は、   |   | 「子どもに関わる事業<br>者」についても整理を行 |
| 子どもに関わる事業者は、子どもが人間性を豊かにし、   | 子どもが活動する場所であるため、子どもの権利を保障する   |   | 有」についても <u>監理</u> を行った。   |
| 将来への可能性を開いていけるよう、子どもの主体性を<br>尊重し、子どもの権利を保障する責務があります。                                  | <u>責務があります。</u>   |   |                           |
|   | 2 学校、子どもに関わる施設・子どもに関わる団体は、子ど  | 第5条 学校は、子どもが人間性を豊かにし、将来へ                            |                           |
| <u>もに関わる事業者は、子どもの権利を保障するため、区や</u>   |   | の可能性を開いていくため、地域の社会と一体となって、活動をしていくよう努めなければなりません。     |                           |
| くみん だんたい じぎょうしゃ れんけい きょうりょく せきむ 区民・団体 <u>・事業者</u> と連携・協力する責務があります。                    | 子どもの主体性を尊重し、子どもの権利を保障するため、  | うて、伯男をしていてより分別なければなりません。                            |                           |
|   | 区や区民・団体と連携・協力する責務があります。   |   |                           |
| こ かか じぎょうしゃ こょう ろうどうしゃ こそだ 3 子どもに関わる事業者は、その雇用する労働者が子育て                                | (新規)  |   |                           |
| をしやすい環境を整備するとともに、地域の子どもが自分  |   |   |                           |
| らしく、豊かに育つことができるよう配慮しながら事業   |   |   |                           |
| かつどう おこな せきむ<br>活動を行う責務があります。   |   |   |                           |
| (区民・団体 <u>・事業者</u> の役割)   | (区民 <u>・団体の役割</u> )   | (区民の務め)   |                           |
| 第12条 区民・団体 <u>・事業者</u> は、地域の中で、子どもと子  | 別は木 E以 団件は、地域の「C、」として1月できして   | 第6条 区民は、地域の中で、子どもがすこやかに育                            |                           |
| 育てをしている家庭を見守り、ともに住みやすい地域をつ  |   | つことができ、また、子育てをしやすい環境をつく<br>っていくため、積極的に役割を果たすよう努めなけ  |                           |
| くっていくという意識をもち、子どもの権利が保障された  | いう意識をもち、子どもの権利が保障された地域づくりを担   | ればなりません。  |                           |
| 地域づくりを担います。   | <u>います。</u>   |   |                           |
|   |   |   |                           |
|   |   |   |                           |

| 改正条例(案)   | 改正条例(素案)  | 現行条例  | 素案から案への変更点   |
|---|---|---|--------------|
| 2 事業者は、その雇用する労働者が子育てをしやすい   | じぎょうしゃ やと ぬし かつどう おこな なか こ じぶん  | (事業者の務め)<br>第7条 事業者は、その活動を行う中で、子どもがす  | ▲事業者と雇い主の値い分 |
| 2 事業者は、その雇用する労働者が子育てをしやすい かんきょう せいび つき 環境の整備に努めるとともに、その事業活動が子どもの せんり ほしょう 権利の保障につながるよう、配慮に努めなければなりませ ん。 | 2 事業者 <u>と雇い主</u> は、その活動を行う中で、子どもが <u>自分</u><br><u>らしく、豊かに</u> 育つことができ、また、子育てをしやすい<br>環境を <u>整備して</u> いくため、配慮するよう努めなければなり<br>ません。 | 、 こやかに育つことができ、また、子育てをしやすい<br>環境をつくっていくため、 配慮するよう奴めなけれ   | けが曖昧なため、「事業  |
| (削除)  | 3 事業者と雇い主は、その事業が子どもの権利の侵害につ   | (麓い主の協力)  |              |
|   | ながることがないよう、配慮に努めなければなりません。  | <ul><li>※第29条 雇い主は、職場が従業員の子育てに配慮したものであるよう努めていくものとします。</li><li>2 雇い主は、子どもがすこやかに育つことに関わる活動や子育てを支える活動へ従業員が参加することについて配慮するよう努めていくものとします。</li></ul> |              |
| (区の責務)  | (区の <u>青務</u> )   | (区の務め)  |              |
| 第13 条 区は、子どもの権利を保障するための政策を<br>************************************                                      | <u>第13 条</u> 区は、子ども <u>の権利を保障するための</u> 政策を総合的<br>に実施する <u>責務</u> があります。   | 第8条 区は、子どもについての政策を総合的に実施<br>します。  |              |
|   | 2 区は、子どもについての政策を実施するときは、保護者、  | 2 区は、子どもについての政策を実施するときは、  |              |
| 学校、子どもに関わる施設・子どもに関わる団体・子どもに関わる事業者、区民・団体・事業者と連携・協働し、 ここともへの支援を展開します。                                     | 学校、子どもに関わる施設・子どもに関わる団体、区民・団体と連携・協働し、子どもへの支援を展開します。  | 保護者、学校、区民、事業者などと連絡をとり、協力しながら行います。   |              |
| ちいき なか ささ こ   | <br>(子どもにやさしいまちづくり)   | (地域の中での助け合い)  | ◆地域の中で子どもを育む |
| 第14条 区や子どもを含むすべての区民は、地域の中で支   | 第14条  | るまちをつくっていくため、地域の中での助け合  |              |
| だい しょう きほん せいさく <b>第4章 基本となる政策</b>  | だい しょう きほん せいさく <b>第4章</b> 基本となる政策  | だい しょう きほん まいさく 第2章 基本となる政策   |              |
|   | 【条項順を入れ替え:第20条】   | (健康と環境づくり)  |              |
|   | 【条項順を入れ替え:第20条】   | 第9条 区は、子どもの健康を保持し、増進していく<br>とともに、子どもがすこやかに育つための安全で良<br>好な環境をつくっていくよう努めていきます。  |              |
|   | 【条項順を入れ替え:第16条】   | (場の確保など)  |              |
|   | <b>【</b> 条項順を入れ替え:第16条 <b>】</b>   | 第10条 区は、子どもが遊び、自分を表現し、安らく<br>ための場を自分で見つけることができるよう必要な<br>支援に努めていきます。   |              |
|   | 【条項順を入れ替え:第16条】   | 2 区は、子どもが個性をのばし、人間性を豊かにするための体験や活動について必要な支援に努めていまます。   |              |

| 改正条例(案)   | 改正条例 (素案)   | 現行条例   | 別紙2 素案から案への変更点 |
|---|---|--|----------------|
|   | (子どもが参加・参画できる機会の確保と意見や想いの尊重)  | (子どもの参加)                                     |                |
| enter in the second of the se |   |  |                |
| だい じょう く きまざま ばめん きかい こ たょう いけん 第15条 区は、様々な場面や機会で、子どもの多様な意見や  | だい じょう く こ tabhu はったっ おう tability ばめん 第15条 区は、子どもの年齢や発達に応じて、様々な場面や                        | 【新設】   |                |
| <mark>思い</mark> を受けとめ、対話しながら、 <u>予どもと</u> ともに子どもの   | ************************************  |  |                |
| 権利を実現します。   | ら、ともに子どもの権利を実現します。  |  |                |
|   | 2   | 第11条 区は、子どもが参加する会議をつくるなどし                    |                |
| ことができる会議を実施するとともに、会議以外の意見   |   | <ul><li></li></ul>                           |                |
| 表明の場となって  | 表明の場を確保し、子どもが地域社会の主体となって参加・   | がていきます。                                      |                |
| 参加・参画することができる仕組みづくりに努めていきま  | 参画することができる仕組みづくりに努めていきます。   |  |                |
| す。<br>く さまざま くふう いけんひょうめい にがて こ   | く さまざま くふう いけんひょうめい にがて こ   | 【新設】   |                |
| る 区は、様々な工夫のもとで、意見表明が苦手な子どもやいけんひょうめい。 ば 、  | いけんひょうめい ぜ いけんひょうめい こ   | 【材献】   |                |
| 意見表明の場があってもなかなか意見表明ができない<br>これでは、 これでは、 これではんひょうめい しゅだん げんてい<br>子どもの声を聴き、乳幼児など意見表明の手段が限定さ   | 意見表明の場があってもなかなか意見表明ができない子<br>こえ き にゅうようじ いけんひょうめい しゅだん げんてい<br>どもの声を聴き、乳幼児など意見表明の手段が限定される |  |                |
| 子どもの声を聴き、乳切児など意見表明の手段か限定される子どもの <mark>思い</mark> を受けとめ、子どもの意見を尊重する   |   |  |                |
| れる子ともの <u>思い</u> を受け <i>とめ、</i> 子ともの息見を尊重する<br>よう努めていきます。   | <u>すどもの思いを受けるめ、すどもの息見を</u> 导重するより <u>労</u><br>めていきます。                                     |  |                |
| 4 区は、子どもの意見や <mark>思い</mark> を大切に受けとめて、 <u>その</u>   | 4 区は、子どもの意見や想いを大切に受けとめて、検討した  | 【新設】   | ◆検討の目的を具体的に    |
| はいけん おも でのげん けんとう けっか りゅう 意見や思いの実現などについて検討した結果と、その理由  |   |  | 記載した。          |
| について子どもに伝えていくよう努めていきます。   | きます。  |  |                |
| (子どもの居場所づくり)  | (子どもの居場所づくり)  | <br>(場の確保など)                                 |                |
| だい じょう く  |   | ※第10条 区は、子どもが遊び、自分を表現し、安ら                    |                |
| りと居場所の質の確保に努めていきます。   | と考える、多様な居場所づくりと居場所の質の確保に努め  | ぐための場を自分で見つけることができるよう必<br>しまか                |                |
|   | <u>ていきます。</u>   | 要な支援に努めていきます。                                |                |
|   | 2 区は、子どもが居心地がよく安心して過ごせることに加   | 2 区は、子どもが個性をのばし、人間性を豊かにす                     |                |
| ことに加え、子どもとの対話を重ねながら、次の複数の   |   | るための体験や活動について必要な支援に努めてい<br>きます。              |                |
| 要素を取り入れた子どもの居場所を実現するよう努めて   | れた子どもの居場所を実現するよう努めていきます。  | 2 x 9 。                                      |                |
| いきます。   | してん<br>(1)子どもの権利の視点から、自由があり自分らしくいられ   | 【新設】<br>···································· |                |
| (1) 子ともの権利の倪点から、自田かめり自分らしくいら<br>れること。   | (1) 于ともの権利の倪点から、自田かめり自分らしくいられること。   | \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\        |                |
| (2)場の一員である実感が <u>も</u> て、意思を伝えようと思え、  | (2)場の一員である実感が持て、意思を伝えようと思え、伝  | ·····································        |                |
| 伝えた意見が受けとめられたと感じられること。  | えた意見が受けとめられたと感じられること。   |  |                |
| (3) 自分のことを自分で決められること。   | $\frac{{\overset{L}{S}^{A}}}{(3)}$ 自分のことを自分で決められること。                                      | 【新設】   |                |
|   | 3 学校、子どもに関わる施設・子どもに関わる団体は、連携  | 【新設】   |                |
| <u>もに関わる事業者</u> は、連携を強化することで、子どもが   |   |  |                |
| 多様なコミュニティの中でのびやかに育つことができ、   | やかに育つことができ、安心して過ごすことができる居心地   |  |                |
| 安心して過ごすことができる居心地のよい環境 <u>の</u> 整備 <u>に</u>  | のよい環境を整備します。_   |  |                |
| 努めていきます。  |   |  |                |

| 改正条例 (案)  | 改正条例 (素案)  | 現行条例  | 別紙2      |
|---|--|---|----------|
| ***くたい よぼう (虐待の予防など)  | ***<たい よぼう (虐待の <mark>予防</mark> など)  | **<たい<br>(虐 待の禁止など)   |          |
| だい じょう <b>だれ</b><br>第17条 <u>誰</u> であっても、子どもを虐待してはなりません。   | <u>第17条</u> だれであっても、子どもを虐待してはなりません。  | 第12条 だれであっても、子どもを虐待してはなりません。  |          |
| 子どもに関わる団体・子どもに関わる事業者などと連絡をとり、協力しながら、子育てをしている家庭に対し、必要なことを行うよう努めていきます。  | **でする。   | をとり、協力しながら、子育てをしている家庭に対<br>し、必要なことを行うよう努めていきます。   |          |
| ため、児童相談所と子ども家庭支援センターとの強力な<br>************************************   | のもと、子どもや子育てをしている家庭に対する適切な支援  | 守るため、児童相談所と子ども家庭支援センターの<br>強力な連携のもと、子どもや子育てをしている家庭  |          |
| な支援と的確な子どもの保護に努めていきます。また、すべての区民に必要な理解が広まるよう努めていくとともに、学校、子どもに関わる施設・子どもに関わる団体・子どもに関わる事業者などと連絡をとり、協力しながら、虐待の予防に努めていきます。  | と的確な子どもの保護に努めていきます。また、すべての区域に必要な理解が広まるよう努めていくとともに、学校、子どもに関わる施設・子どもに関わる団体などと連絡をとり、協力しながら、虐待の予防に努めていきます。   | に対する適切な支援と的確な子どもの保護に努めていきます。また、すべての区民に必要な理解が広まるよう努めていくとともに、子どもや子育てに係る関係機関、自主活動をしている団体などと連絡をとり、協力しながら、虐待の防止に努めていきます。 |          |
| (いじめや差別の予防など)  ***********************************  | あんしん。すり、「これりでは、」では、「これりです。」は、「これりです。」は、「これりでは、「これりです。」は、「これりです。」は、「これ」には、「これ、「これ」には、「これ、「これ」には、「これ、「これ」には、「これ、「これ」には、「これ、「これ」には、「これ、「これ、「これ、「これ、「これ、「これ、「これ、「これ、「これ、「これ | (いじめへの対応)<br>第13条 だれであっても、いじめをしてはなりません。   |          |
| 必要な理解が広まる <u>ための普及啓発を推進し、未然防止や早期発見に</u> 努めていくとともに、いじめや差別があったときに、 <u>速やかに</u> 解決するため、保護者や学校、子どもに関わる施設・子どもに関わる団体・子どもに関わる事業者などと連絡をとり、協力するなど必要な仕組みを作るよう努めていきます。 | もに関わる施設・子どもに関わる団体などと連絡をとり、   | 2 区は、いじめを防止するため、すべての区民に必要な理解が広まるよう努めていくとともに、いじめがあったときに、すみやかに解決するため、保護者や地域の人たちと連絡をとり、協力するなど必要な仕組みをつくるよう努めていきます。      | ついて追記した。 |
| た環境などにかかわらず、安心して育つことができる  | (貧困などの対策)  (貧困などの対策)  (対象 だれであっても、貧困などに関連する生まれや育っ  た環境などにかかわらず、安心して育つことができる権利  | 【新設】  |          |
| 権利があります。 2 区は、貧困などの防止と解消に向けて、子どもの現在と将来がその生まれや育った環境に左右されることがないよう、すべての子どもが自分らしく豊かに育つことができる環境の整備に努めていきます。  | 20 20 21 22 27 20  | 【新設】  |          |

| 改正条例 (案)  | 改正条例 (素案)  | 現行条例                                    | 別紙2                            |
|---|--|---|--------------------------------|
| thalp hades in (健康と環境づくり)   | (健康と環境づくり)   | (健康と環境づくり)                              |                                |
| だい じょう く こ けんこう ほ じ ぞうしん<br>第20条 区は、子どもの健康を保持し、増進していくととも                              | だい、じょう 〈 こ こ けんこう ほ じ ぞうしん<br><mark>第20条</mark> 区は、子どもの健康を保持し、増進していくととも  | ※第9条 区は、子どもの健康を保持し、増進してい                |                                |
| に、子どもが自分らしく豊かに育つための安全で良好な   | に、子どもが <mark>自分らしく豊かに</mark> 育つための安全で良好な   | くとともに、子どもがすこやかに育つための安全                  |                                |
| <sup>ゕんきょう</sup> ぜいび<br>環境を整備するよう努めていきます。   | プレートルグ<br><mark>環境を整備するよう</mark> 努めていきます。  | で良好な環境をつくっていくよう努めていきま<br>す。             |                                |
| こ けんりがくしゅう しぇん<br>(子どもの権利学習の支援)   | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・  | 【新設】                                    |                                |
|   | ##   | 【新設】                                    |                                |
| <sup>しえん っと</sup><br>めの支援に努めていきます。  | った。<br>の支援に努めていきます。<br>  |   |                                |
| 2 区は、子どもに関わる大人が子どもの権利について理解   |  | 【新設】                                    | ◆第1項「権利」に対し、第                  |
| し、子どもに教えることができるようになるための支援に  | 理解し、子どもに教えることができるようになるための支援<br>できるようになるための支援   |   | 2項では「権利全般」とい                   |
| 努めていきます。  | <u>に</u> 努めていきます。  |   | う文言を用いると、第1<br>項が「権利の一部」のよう    |
| (子育て支援ネットワークの形成)  | (子育て <u>支援ネットワークの形成</u> )  | (子育てへの支援)                               | にも読めるため、「権利」                   |
| 第22条 区は、子どもの育ちや子育てを、子どもや保護者   | だい じょう く こ こ そだ ここそだ こ こ ほごしゃこじん<br>第22条 区は、子どもの育ちや子育てを、子どもや保護者個人  | 第14条 区は、地域の中での助け合いや連絡を強め、               | に統一した。                         |
| こじん せきにん ちいきしゃかいぜんたい ささ あ こ で 個人の責任とはせず、地域社会全体でともに支え合い、子                              | の責任とはせず、地域社会全体でともに支え合い、子ども   | 子育てをしている人たちのために必要なことを行う<br>よう努めていきます。   |                                |
| ども一人ひとりの権利が保障される地域づくりを推進し   | 一人ひとりの権利が保障される地域づくりを推進していき   | よ / <del>勿</del> め く v ' e ま y 。        |                                |
| ていきます。<br>く たよう しゅたい こそだ しえん けいせい   | <u>ます。</u><br>く たよう しゅたい こそだ しえん けいせい  | [☆r∋n]                                  |                                |
| 2 区は、多様な主体による子育て支援ネットワークの形成 ちゅうしんてき、 やくわり にな  | ちゅうしんてき やくわり にな  |   |                                |
| における、中心的な役割を担います。  における、中心的な役割を担います。  (人材育成)  | おける、中心的な役割を担います。   | 【新設】                                    |                                |
| (人材育成)    (人材育成)  | <u>(人材育成)</u><br>たい じょう く こ いけんけいせい いけんひょうめい しぇん<br>第23 条 区は、子どもの意見形成や意見表 明を支援するた  |   |                                |
| 第23条 区は、子どもの意見形成や意見表明を支援するた   | ひつよう じんざいいくせい つと   | 【利 <b>议】</b>                            |                                |
| く こ いけんけいせい いけんひょうめい しぇん じんざい   | め、必要な人材育成に努めていきます。   | 】<br>【新設】                               | A F/ct will be a six pin to be |
| 2 区は、ナともの息見形成や息見表明を文援する人材を<br>はなん う こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ               | 2 区は、子どもの意見形成や意見表明を支援する人材が   |   | ◆「循環」について説明を追<br>記した。          |
| 株続的に   成りるとともに、文族を文化に子ともが次の担  で   |  |   |                                |
| <u>い子となる</u> 循 塚 <u>が生まれる</u> 塚 境 の 登浦 に  の  といさます。                                   | <del></del>  |   |                                |
| (普及啓発)  | <u>sewithulan</u><br>( <u>普及</u> 啓発)   | (P) |                                |
|   | だい じょう く じょうれい そんざい りねん<br>第24条 区は、この条例の <u>存在と理念</u> について、すべての区   |   |                                |
| くみん りかい<br>区民に理解してもらうよう努めていきます。   | スペーリ かい   っと   アイス   アイス | べての区民に理解してもらうよう努めなければな                  |                                |
| 2 区は、様々な工夫をしながら、乳幼児を含めた子どもに   | 2 区は、子どもの年齢や発達に応じて様々な工夫をしなが  | りません。<br>【新設】                           |                                |
| 2 区は、様々な工大をしなから、乳切児を含めた子ともに<br>*** *** *** *** *** *** *** *** *** **                 |  |   |                                |
| 対してたりでなく、人人に対しても、この条例の音及各先<br>を実施していきます。  | し、乳幼児を含めたすともに対してたけでなく、人人に対しても、この条例の普及啓発を実施していきます。  |   |                                |
| 3 区や大人は、子どもが自分らしく生きていくことができ   |  |   |                                |
| 3 区や大人は、子どもか自分らしく生さていくことができ<br>しゃかい みずか かんが せきにん せいかっ おく<br>る社会において、自ら考え責任ある生活を送るために、 | <u> </u>   |   | ◆子どもの権利の実現に向<br>はて、大人がてばれたた    |
| る社会において、自ら考え真性のる生活を送るために、<br>じぶんじしん こ けんり<br>自分自身に子どもの権利があることや、お互いを認め合い               |  |   | けて、大人が子どもたち<br>に伝えるべき視点を記載     |
| 自力自分にするもの権利があることで、お互いを認め自い<br><sup>そんちょう</sup> 尊重することの大切さを伝えていきます。                    |  |   | した。                            |
| <u> 寸 主 / ることが八分とと囚れててひより。</u>  |  |   |                                |

| 改正条例 (案)   | 改正条例(素案)  | 現行条例                                       | 別紙2 素案から案への変更点 |
|--|---|--|----------------|
| 4 区民が子どもの権利について理解と関心を深めること   |   | 【新設】                                       | スペスペンス マングス/M  |
| 」 けんりじょうやく こくさいれんごう さいたく ができるよう、子どもの権利条約が国際連合で採択され                               | こ けんりじょうやく こくさいれんごう さいたく できるよう、子どもの権利条約が国際連合で採択された11        |  |                |
| た11月 <mark>20日</mark> を、 <u>「</u> 世田谷区子どもの権利の日 <u>」</u> として定め                    | がったかれています。<br>月20日を、世田谷区子どもの権利の日として定めます。                    |  |                |
| ます。  |   |  |                |
| 第5章 子どもの権利擁護   | <u>第5章</u> 子どもの <u>権利</u> 擁護                                | 第3章 子どもの人権擁護                               |                |
| せたがやくこ けんりょうごいいん せっち<br>(世田谷区子どもの権利擁護委員の設置)                                      | せたがやくこ。 けんりょうごいいん せっち<br>(世田谷区子どもの <mark>権利擁護委員の設置</mark> ) | (世田谷区子どもの人権擁護委員の設置)                        |                |
| だい じょう く こ けんり ようご こ けんり しんがい<br>第25条 区は、子どもの権利を擁護し、子どもの権利の侵害                    | だい じょう く こ けんり ようご こ けんり しんがい                               | ようご  |                |
| を速やかに取り除くことを目的として、区長と教育  | をすみやかに取り除くことを目的として、区長と教育                                    | の侵害をすみやかに取り除くことを目的として、区                    |                |
| いいんかい きぞくきかん せたがやくこ けんりょうごいいん<br>委員会の附属機関として世田谷区子どもの権利擁護委員                       | いいんかい きぞくきかん せたがやくこ けんりょうごいいん<br>委員会の附属機関として世田谷区子どもの権利擁護委員  | 歩でく<br>長と教育委員会の附属機関として世田谷区子どもの             |                |
| ぃゕ ょぅヹぃぃゟ<br>(以下「擁護委員」といいます。)を設置します。   | いか ようごいいん<br>(以下「擁護委員」といいます。)を設置します。                        | ょぅ ご<br>人権擁護委員(以下「擁護委員」といいます。)を            |                |
|  |   | 設置します。                                     |                |
| 2 擁護委員は、5人以内とします。  | 2 擁護委員は、 5人以内 とします。   | 2 擁護委員は、3人以内とします。                          |                |
| 3 擁護委員は、人格が優れ、子どもの権利について見識の  | 3 擁護委員は、人格が優れ、子どもの $\frac{th \cdot b}{k}$ について見識のあ          | 3 擁護委員は、人格が優れ、子どもの人権について                   |                |
| ある人のうちから区長と教育委員会が委嘱します。  | る人のうちから区長と教育委員会が委嘱します。                                      | 見識のある人のうちから区長と教育委員会が委嘱し                    |                |
| ようごいいん にんき ねん さいにん   | ようごいいん にんき ねん さいにん  | ます。  |                |
| 4 擁護委員の任期は3年とします。ただし、再任することができるものとします。   | 4 擁護委員の任期は3年とします。ただし、再任することができるものとします。                      | 4 擁護委員の任期は3年とします。ただし、再任す<br>ることができるものとします。 |                |
| なり、  |   |  |                |
| してという。<br>してというできないと判断したときや、擁護委員としてふさ  | 1 ブレ けんだん とうごいいん  | りその仕事ができないと判断したときや、擁護委員                    |                |
| かしくない行いがあると判断したときは、その職を解く  | 10 - 3.   | としてふさわしくない行いがあると判断したとき                     |                |
| ことができます。   | できます。   | は、その職を解くことができます。                           |                |
| (擁護委員の仕事)  | (擁護委員の仕事)   | (擁護委員の仕事)                                  |                |
|  |   | 第16条 擁護委員は、次の仕事を行います。                      |                |
| (1)子どもの権利の侵害についての相談に応じ、必要な助言   | (1)子どもの権利の侵害についての相談に応じ、必要な助言や                               | (1)子どもの権利の侵害についての相談に応じ、必要                  |                |
| や支援をすること。  | 支援をすること。  | な助言や支援をすること。                               |                |
| (2)子どもの権利の侵害についての調査をすること。  | (2)子どもの権利の侵害についての調査をすること。                                   | (2)子どもの権利の侵害についての調査をすること。                  |                |
| (3)子どもの権利の侵害を取り除くための調整や要請をす  | (3)子どもの権利の侵害を取り除くための調整や要請をする                                | (3)子どもの権利の侵害を取り除くための調整や要請                  |                |
| ること。<br>こ けんり しんがい ふせ いけん の  | こと。 けんり しんがい ふせ いけん の                                       | をすること。                                     |                |
| (4)子どもの権利の侵害を防ぐための意見を述べること。  | (4)子どもの権利の侵害を防ぐための意見を述べること。                                 | (4)子どもの権利の侵害を防ぐための意見を述べるこ                  |                |
| こ けんり しんがい と のぞ ようせい こ<br>(E)フドナの控制の担守と時に応くとはの無法 フドュの                            | (5)子どもの権利の侵害を取り除くための要請、子どもの権利                               | と。<br>しんがい<br>イエトフトはの体和の個字と時の吸えとはの無法。フトリ   |                |
| (5) 子どもの権利の侵害を取り除くための要請、子どもの はんり しんがい きせ いけん ないよう こうひょう 権利の侵害を防ぐための意見などの内容を公表するこ |   | しんがい                                       |                |
| 惟州の伎者を防くにめの息見なとの内谷を公表するこ<br>と。   | の <b>闵吉を</b> 防へだめの息見はとの内谷を公 表すること。                          | もの権利の侵害を防ぐための意見などの内容を公表<br>すること。           |                |
| こ。<br>c けんり しんがい set みまも しえん<br>(6)子どもの権利の侵害を防ぐための見守りかどの支援を                      | こ。 けんり しんがい set<br>(6)子どもの権利の侵害を防ぐための見守りなどの支援をす             |  |                |
| すること。  | ること。  | ではない<br>支援をすること。                           |                |
| かつどう ほうこく ないよう こうひょう (7)活動の報告をし、その内容を公表すること。                                     | かっとう ほうこく<br>(7)活動の報告をし、その内容を公表すること。                        | (7)活動の報告をし、その内容を公表すること。                    |                |

| 改正条例 (案)  | 改正条例(素案)   | 現行条例   | 素案から案への変更点 |
|---|--|--|------------|
| (8)子どもの権利の擁護についての必要な理解を広めるこ   | (8)子どもの <mark>権利</mark> の擁護についての必要な理解を広めること。                       | (8)子どもの人権の擁護についての必要な理解を広め                          |            |
| Ło ta in tak tak  | t 5 Thinks of  | ること。   |            |
| ょうごいいん つと<br>(擁護委員の務めなど)  | ょうごいいん つと (擁護委員の務めなど)  | (擁護委員の務めなど)  |            |
| 第27条 擁護委員は、子どもの権利を擁護し、子どもの権利  | (たい じょう ようごいいん こ けんり ようご こ けんり                                     | 第17条 擁護委員は、子どもの人権を擁護し、子ども                          |            |
| の侵害を取り除くため、区長、教育委員会、保護者、区   |  | の権利の侵害を取り除くため、区長、教育委員会、                            |            |
| 民、事業者など(以下「関係機関など」といいます。)と  | でぎょうしゃ いか かんけいきかん<br>事業者など(以下「関係機関など」といいます。)と連絡を                   |  |            |
| 連絡をとり、協力しながら、公正かつ中立に仕事をしな   |  | といいます。)と連絡をとり、協力しながら、公正<br>かつ中立に仕事をしなければなりません。     |            |
| ければなりません。   | なりません。  まうごいいん ちい せいとう せいじてきもくてき 2 擁護委員は、その地位を政党や政治的目的のために利用し      | ようご  |            |
| 2 雑護委員は、その地位を政党や政治的目的のために利用してはなりません。                                      | 2 擁護委員は、その地位を政党や政治的目的のために利用してはなりません。                               | 2 擁護委員は、その地位を政党や政治的目的のため<br>に利用してはなりません。           |            |
| ようごいいん しごと うえーし たにん ひみつ も   | はなりよせん。<br>ようごいいん しごと うえ し たにん ひみっ<br>3 擁護委員は、仕事をする上で知った他人の秘密をもらして | r 5 m²   |            |
| てはなりません。擁護委員を辞めた後も同様とします。   | はなりません。擁護委員を辞めた後も同様とします。   | もらしてはなりません。擁護委員を辞めた後も同様                            |            |
| <u>、</u> はなりません。12世段女員を呼りた区の内閣とします。                                       | はなりよどル。神殿女具を肝めた区の門塚としより。   | とします。  |            |
| * うごいいん きょうりょく (擁護委員への 協力 など)   | ょうごいいん きょうりょく<br>(擁護委員への協力など)                                      | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・               |            |
| だい じょう く ようごいいん せっち もくてき な<br>第28条 区は、擁護委員の設置の目的を <mark>踏まえ</mark> 、その仕事に | だい じょう く ょうごいいん せっち もくてき<br>第28条 区は、擁護委員の設置の目的をふまえ、その仕事に           | 第18条 区は、擁護委員の設置の目的をふまえ、その                          |            |
| ** <sup>シッシッッ・&lt;</sup><br>協力 しなければなりません。                                | <sup>きょうりょく</sup><br>協力 しなければなりません。                                | 仕事に協力しなければなりません。                                   |            |
| 2 保護者、区民、事業者などは、擁護委員の仕事に協力  | 2 保護者、区民、事業者などは、擁護委員の仕事に協力す  | 2 保護者、区民、事業者などは、擁護委員の仕事に                           |            |
| するよう努めなければなりません。  | るよう努めなければなりません。  | 協力するよう努めなければなりません。                                 |            |
| 3 区は、附属機関としての役割を担い活動する擁護委員の   | 3 区は、附属機関としての役割を担い活動する擁護委員の  | 【新設】   |            |
| 独立性を尊重しなければなりません。   | 独立性を尊重しなければなりません。  |  |            |
| そうだん もうした<br>(相談と申立て)   | そうだん もうした<br>(相談と申立て)  | (相談と申立て)   |            |
|   | だい じょう こ<br>第29条 <u>子どものうち次に定めるものは、</u> 擁護委員に、自分                   | ょぅェ<br>第19条 子ども (次に定めるものとします。) は、擁護                |            |
| こついて相談することやその侵害を取り除くための申立   |  |  |            |
| てをすることができます。また、 <mark>誰</mark> であっても、擁護委員                                 | もうした<br>くための申立てをすることができます。また、だれであって                                | やその侵害を取り除くための申立てをすることがで                            |            |
| に、次に定める <mark>者</mark> の権利の侵害について相談することやそ                                 |  | 1. * *   |            |
| の侵害を取り除くための申立てをすることができます。   | することやその侵害を取り除くための申立てをすることが   | 定めるものの権利の侵害について相談することやそ                            |            |
|   | できます。  | の侵害を取り除くための申立てをすることができま                            |            |
| < tols 1 sh 5 l. F  | く だい じゅうしょ ねう ニ  | <b>†</b> .   |            |
| (1)区内に住所を有する子ども   | (1)区内に住所を有する子ども  | (1)区内に住所を有する子ども                                    |            |
| (2)区内にある事業所で働いている子ども<br>〈 ない  | (2)区内にある事業所で働いている子ども   | (2)区内にある事業所で働いている子ども                               |            |
| にゅうしょ   | (3)区内にある学校、児童福祉施設などに、通学、通所や入所                                      |  |            |
| 入所している子ども   | している子ども<br>こ 『 『 phu きゃく さだ  | 所や入所している子ども<br>(1) オルス・※# バストラム・ 1989 (4 ** ) 7 ** |            |
| $(4)$ 子どもに 準ずる $\frac{1}{4}$ として規則で定める $\frac{1}{4}$                      | (4)子どもに準ずるものとして規則で定めるもの  | (4)子どもに準ずるものとして規則で定めるもの                            |            |
|   |  |  |            |
|   |  |  |            |

| 改正条例(案)  | 改正条例 (素案)  | 現行条例   | 素案から案への変更点 |
|--|--|--|------------|
| ts,jet ts,jeth<br>(調査と調整)  | たようさ ちょうせい (調査と調整)   | (調査と調整)  |            |
| 第30条 擁護委員は、子どもの権利の侵害を取り除くため                                      | だい じょう ようごいいん こ けんり しんがい と のぞ                                  | 第20条 擁護委員は、子どもの権利の侵害を取り除く                          |            |
| の申立てに基づき、また、必要に応じて、子どもの権利の                                       |  |  |            |
| しんがい<br>侵害についての調査をするものとします。ただし、擁護                                | たついての調査をするものとします。ただし、擁護委員が                                     | もの権利の侵害についての調査をするものとしま                             |            |
| いいん とくべつ じじょう みと のぞ きそく きだ 委員が特別の事情があると認めるときを除き、規則で定め            | とくべつ じじょう みと のぞ きそく さだ ばあい 特別の事情があると認めるときを除き、規則で定める場合に         | す。ただし、擁護委員が特別の事情があると認める                            |            |
| る場合においては、調査をしないことができます。  | おいては、調査をしないことができます。  | ときを除き、規則で定める場合においては、調査を                            |            |
|  |  | しないことができます。  |            |
| 2 擁護委員は、関係機関などに対し調査のために必要な<br>しょるい ていしゅっ もと しょくいん たい             |  |  |            |
| 書類を提出するよう求めることや、その職員などに対し  | しつもん   | 要な書類を提出するよう求めることや、その職員な<br>どに対し調査のために質問することができるものと |            |
| 調査のために質問することができるものとします。  | ために質問することができるものとします。   | します。   |            |
| 3 擁護委員は、調査の結果、必要と認めるときは、子ども                                      |  | 3 擁護委員は、調査の結果、必要と認めるときは、                           |            |
| と関係機関などとの仲介をするなど、子どもの権利の   | ************************************                           | 子どもと関係機関などとの仲介をするなど、子ども                            |            |
| しんがい と のぞ<br>侵害を取り除くための調整をすることができます。                             | た。のぞ<br>取り除くための調整をすることができます。                                   | の権利の侵害を取り除くための調整をすることがで                            |            |
|  |  | きます。   |            |
| (要請と意見など)  | (要請と意見など)  | (要請と意見など)  |            |
| 第31条 擁護委員は、調査や調整の結果、子どもの権利の                                      | 第31条 擁護委員は、調査や調整の結果、子どもの権利の                                    | 第21条 擁護委員は、調査や調整の結果、子どもの権                          |            |
| しんがい と のぞ ひつよう みと  | 侵害を取り除くため必要と認めるときは、関係機関などに対                                    | 利の侵害を取り除くため必要と認めるときは、関係                            |            |
| 対してそのための要請をすることができます。  | してそのための要請をすることができます。   | 機関などに対してそのための要請をすることができ                            |            |
| ようごいいん こ けんり しんがい ふせ ひつよう みと                                     | ようごいいん こ けんり しんがい ふせ ひつよう みと                                   | ます。  |            |
| 2 擁護委員は、子どもの権利の侵害を防ぐため必要と認め                                      | かんけいきかん。 たい いけん の  |  |            |
| るときは、関係機関などに対してそのための意見を述べる                                       |  | と認めるときは、関係機関などに対してそのための                            |            |
| ことができます。  sōty いけん う くちょう きょういくいいんかい ようせい                        | ができます。<br>ようせい、いけん、うし、くちょう、きょういくいいんかい ようせい                     | 意見を述べることができます。<br>* <sup>5</sup> tty               |            |
| 3 要請や意見を受けた区長や教育委員会は、その要請やいけん。そんちょう てきせつ たいおう                    | 3 要請や意見を受けた区長や教育委員会は、その要請や<br>いけん そんちょう てきせつ たいおう              | ようせい   |            |
| 意見を尊重し、適切に対応しなければなりません。  | がけん。そんちょう。 てきせつ たいおう<br>意見を尊重し、適切に対応しなければなりません。                | 要請や意見を尊重し、適切に対応しなければなりま                            |            |
| は  | はうせい いけん う くちょう きょういくいいんかいいがい かんけいきかん 要請や意見を受けた区長と教育委員会以外の関係機関 | せん。<br>ようせい<br>エボウギロナズいた反反し地本チ号へNIAの間を             |            |
| 4 要請や息見を受けた区長と教育委員会以外の関係<br>************************************ |  |  |            |
| 機関などは、その要請や恵見を 等 里 し、対応に 分のなけれ<br>ばなりません。                        | などは、その要請や意見を  単  し、対応に   | 機関などは、その要請や意見を尊重し、対応に努め<br>なければなりません。              |            |
|  |  | ようご  |            |
| はいけん の たいおう ほうこく もと きや意見を述べたときは、その対応についての報告を求め                   | いけん の たいおう ほうこく もと   |  |            |
| ることができます。  | とができます。  | 報告を求めることができます。                                     |            |
| はうごいいん ひつよう みと ようせい いけん たいおう<br>6 擁護委員は、必要と認めるときは、要請、意見、対応に      |  | <sub>ょうご</sub><br>6 擁護委員は、必要と認めるときは、要請、意見、         |            |
| ついての報告の内容を公表することができます。この場  | いての報告の内容を公表することができます。この場合に                                     |  |            |
| たった。 こじんじょうほう は ご  | おいては、個人情報の保護について十分に配慮しなければ                                     |  |            |
| ければなりません。  | なりません。   | 十分に配慮しなければなりません。                                   |            |
| 7 擁護委員は、その協議により要請をし、意見を述べ、ま                                      | 7 擁護委員は、その協議により要請をし、意見を述べ、また、                                  | 7 擁護委員は、その協議により要請をし、意見を述                           |            |

| 改正条例 (案)  | 改正条例 (素案)  | 現行条例  | 素案から案への変更点               |
|---|--|---|--------------------------|
| た、この要請や意見の内容を公表するものとします。  | この要請や意見の内容を公表するものとします。   | べ、また、この要請や意見の内容を公表するものと<br>します。                     |                          |
| <sup>みまも</sup><br>(見守りなどの支援)  | <sup>みまも</sup><br>(見守りなどの支援)                                       | (見守りなどの支援)  |                          |
| だい じょう ょうごいいん こ けんり しんがい と のぞ<br>第32条 擁護委員は、子どもの権利の侵害を取り除くため                        | 紫32条 擁護委員は、子どもの権利の侵害を取り除くための                                       | 第22条 擁護委員は、子どもの権利の侵害を取り除く                           |                          |
| の要請などをした後も、必要に応じて、関係機関などと   | 要請などをした後も、必要に応じて、関係機関などと協力   | ための要請などをした後も、必要に応じて、関係機                             |                          |
| 歯 力 しながら、その子どもの見守りなどの支援をするこ   | しながら、その子どもの見守りなどの支援をすることができ  | 関などと協力しながら、その子どもの見守りなどの                             |                          |
| とができます。   | ます。<br>かつどう ほうこく こうひょう   | 支援をすることができます。                                       |                          |
| かつどう ほうこく こうひょう<br>(活動の報告と公表)<br>だい じょう ょうごいいん まいとし くちょう きょういくいいんかい かつどう            | (活動の報告と公表)   | (活動の報告と公表)  |                          |
| だい じょう ようごいいん まいとし くちょう きょういくいいんかい かつどう 第33条 擁護委員は、毎年、区長と教育委員会に活動の                  |  | 第23条 擁護委員は、毎年、区長と教育委員会に活動                           |                          |
| ないよう こうひょう 報告をし、その内容を公表するものとします。  | をし、その内容を公表するものとします。  | の報告をし、その内容を公表するものとします。                              | A MA A . MA A - UT       |
| ょうごいいん しょむ<br>(擁護委員の庶務)<br>だい じょう ょうごいいん しょむ こ わかものぶ おこな                            |  |   | ◆第34条と第35条の順番を<br>入れ替えた。 |
| だい じょう ようごいいん しょむ こ たかものぶ おこな <b>第34条</b> 擁護委員の庶務は、子ども・若者部で行います。                    | そうだん ちょうさせんもんいん  | ようご しょむ   | / M い目・ た / C o          |
| (相談・調査専門員)  だい じょう ようごいいん しごと ほ さ そうだん ちょうさせんもんいん                                   | そうだん ちょうさせんもんいん (相談・調査専門員)<br>だい じょう ようごいいん しごと ほさ そうだん ちょうさせんもんいん | (擁護委員の庶務など)   |                          |
| 策35条<br><u>#35条</u> 擁護委員の仕事を補佐するため、相談・調査専門員   | お お こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ                            | 第24条 擁護委員の庶務は、子ども・若者部で行いま                           |                          |
| を <mark>設置します</mark> 。<br>そうだん ちょうさせんもんいん こ こえ き せんもんか                              | を置きます。     そうだん ちょうさせんもんいん こ こえ き せんもんか こ                          | 「 <sup>9</sup> 。<br>ようご<br>2 擁護委員の仕事を補佐するため、相談・調査専門 |                          |
| 2 相談・調査専門員は、子どもの声を聴く専門家として、<br>まうだん おう ひつよう おう ようごいいん<br>子ども本人などからの相談に応じ、必要に応じて擁護委員 | 2 相談・調査専門員は、子どもの声を聴く専門家として、子                                       | 2 擁護安員の任事を補任するため、相談・調査専門<br>員を置きます。                 |                          |
| 子ども本人などからの相談に応じ、必要に応じて擁護委員<br>  に報告します。<br>  に報告します。                                | ども本人などからの相談に応じ、必要に応じて擁護委員に   | 3 擁護委員に準じて、第17条の規定は、相談・調                            |                          |
| に報告します。 - そうだん ちょうさせんもんいん こ けんり かん なきゅうけいはつ   | 報告します。<br>また、子どもの権利に関する普及啓発活動を実施します。                               | 査専門員に適用します。   |                          |
| かつどう じっし  | また、子どもの権利に関する普及啓発活動を実施します。   |   |                          |
| 活動を実施します。 ようごいいん じゅん だい じょう きてい そうだん ちょうさせんもんいん なまま ままま かいこく かりてん のおおい 知本 ままま       | 3 <u>擁護委員に準じて、<mark>第27 条</mark>の規定は、相談・調査専門員</u>                  |   |                          |
| (さよ)  | <u>できょう</u><br>に適用します。   |   |                          |
| に適用します。   | (  |   |                          |
|   | (擁護安員の庶務)  ***********************************                     |   |                          |
|   | <u>第30 余</u>   |   |                          |
|   |  |   |                          |
| 第6章 推進計画・推進体制・評価検証など  | 第6章 推進計画 <u>・推進体制・</u> 評価 <u>検証など</u>                              | 第4章 推進計画と評価   |                          |
| tulhitums (推進計画)  | thulling (推進計画)  | (推進計画)  |                          |
| ボルー じょう くちょう こ せいさく すす<br>第36条 区長は、子どもについての政策を進めていくため                               |  | 第25条 区長は、子どもについての政策を進めていく                           |                          |
| の基本となる計画(以下「推進計画」といいます。)を作  | まなる計画(以下「推進計画」といいます。)をつくり  | ための基本となる計画(以下「推進計画」といいま                             |                          |
| <u>り</u> ます。  | ます。  | す。)をつくります。  |                          |
| 2 区長は、推進計画を作るときは、当事者である子どもや   | 2 区長は、推進計画をつくるときは、当事者である子ども  |   |                          |
| 区民の意見が生かされるよう努めなければなりません。   | <u>◆</u> 区民の意見が生かされるよう努めなければなりません。                                 | 生かされるよう努めなければなりません。                                 |                          |
| 3 区長は、推進計画を作ったときは、速やかに公表しま  |  |   |                          |
| す。  | ます。  | 公表します。  |                          |
|   |  |   |                          |

| 改正条例 (案)  | 改正条例 (素案)  | 現行条例   | 素案から案への変更点 |
|---|--|--|------------|
| すいしんたいせい<br>(推進体制)  | th Luck New York (推進体制)                          | (推進体制)   |            |
| だい じょう くちょう こ<br>第37条 区長は、子どもについての政策を計画的に進めて                |  | <mark>※第27条</mark> 区長は、子どもについての政策を計画的に             |            |
| いくため、推進体制を整備します。  | くため、推進体制を整備します。                                  | 進めていくため、推進体制を整備します。                                |            |
| (国、東京都などとの協力)   | くに とうきょうと きょうりょく (国、東京都などとの協力)                   | (国、東京都などとの協力)                                      |            |
| (国、人人人) は   |  | ※第28条 区は、子どもがすこやかに育つための環境                          |            |
| かんきょう せいび くに とうきょうと きょうりょく もと 環境を整備するため、国、東京都などに協力を求めてい     | ************************************             | をつくっていくため、国、東京都などに協力を求め                            |            |
| まます。  | を歪曲するため、国、未が仰なこに 励力を不めているよう。                     | ていきます。   |            |
| <sub>ひょうかけんしょう</sub><br>(評価検証など)                            | <sup>ひょうかけんしょう</sup><br>(評価 <mark>検 証など</mark> ) | (評価)   |            |
|   | 49 1 1 1 2 1 4 1 5 H                             | <mark>※第26条</mark> 区長は、子どもについての政策を有効に進             |            |
| はんり ほしょう だいさんしゃきかん ちょうさ ひょうかけんしょう 権利を保障するため、第三者機関による調査と評価検証 |  | めていくため、推進計画に沿って行った結果につい                            |            |
| まこな たいせい せいび を行う体制を整備します。                                   | たいせい せいび<br>行う体制を整備します。                          | て評価をします。   |            |
| $2$ 区長は、評価検証などに $\frac{b}{2}$ たっては、当事者である子                  |  | 2 区長は、推進計画に沿って行った結果について評                           |            |
| ともや区民の意見が生かされるよう努めなければなりま                                   | くなん いけん いっこ                                      | 価をするときは、区民の意見が生かされるよう努め                            |            |
| せん。   | <u>し、</u> EDCの窓内が上がこれである フガーンはいれいないな フェ とん。      | なければなりません。   |            |
|   | 【削除】   | 3 区長は、推進計画に沿って行った結果について評                           |            |
|   |  | 価をしたときは、すみやかにその評価の内容を公表                            |            |
|   | I the a tell the black                           | します。   |            |
|   | 【第6章に集約】<br>【条項順を入れ替え:第37条】                      | 第5章 推進体制など<br>(推進体制)                               |            |
|   | 【条項順を入れ替え:第37条】<br>【条項順を入れ替え:第37条】               | 第27条 区長は、子どもについての政策を計画的に進                          |            |
|   | TATE COMULETE STOLAY                             | めていくため、推進体制を整備します。                                 |            |
|   | 【条項順を入れ替え:第38条】                                  | (国、東京都などとの協力)                                      |            |
|   | 【条項順を入れ替え:第38条】                                  | 第28条 区は、子どもがすこやかに育つための環境を                          |            |
|   |  | つくっていくため、国、東京都などに協力を求めて                            |            |
|   | 【发示师五十 1 lo 井 >                                  | いきます。  |            |
|   | 【条項順を入れ替え:第11条第3項】<br>【条項順を入れ替え:第11条第3項】         | (雇い主の協力)<br>第29条 雇い主は、職場が従業員の子育てに配慮し               |            |
|   | 【未填順を八和時人、第11末第3項】                               | 第23米 催い主は、戦場が促来員の子育でに乱悪し<br>たものであるよう努めていくものとします。   |            |
|   | 【条項順を入れ替え:第11条第3項】                               | 2 雇い主は、子どもがすこやかに育つことに関わる                           |            |
|   |  | 活動や子育でを支える活動へ従業員が参加すること                            |            |
|   |  | について配慮するよう努めていくものとします。                             |            |
|   | 【条項順を入れ替え:第14条】                                  | (地域の中での助け合い)                                       |            |
|   | <i>【条項順を入れ替え:第14条】</i>                           | 第30条 区は、子どもがすこやかに育つことのできる                          |            |
|   |  | まちをつくっていくため、地域の中での助け合いに<br>必要なことを行うとともに、自発的な活動がなされ |            |
|   |  | るよう必要な取組を行います。                                     |            |
|   | 【条項順を入れ替え:第24条】                                  | (啓発)   |            |
|   | 【条項順を入れ替え:第24条】                                  | 第31条 区は、この条例の意味や内容について、すべ                          |            |
|   |  | ての区民に理解してもらうよう努めなければなりませ                           |            |
|   |  | $\lambda_o$  |            |

| 改正条例(案)  | 改正条例 (素案)   | 現行条例  | 素案から案への変更点 |
|--|---|---|------------|
| 第7章 雜則   | だい しょう きっそく<br>第7章 雑則   | 第6章 雑則  |            |
| いにん<br>(委任)  | いたん<br>(委任)   | (委任)  |            |
|  | $\frac{\xi_{N}}{\hat{\mathbf{p}}_{40}}$ この条例を施行するために必要なことは、区長が定                                 | 第32条 この条例を施行するために必要なことは、区                           |            |
| <sup>さだ</sup><br>定めます。   | めます。  | 長が定めます。   |            |
| まそく<br>附則  | かまく 附則 バストル・カンド・カント   | あそく<br>附則   |            |
| この条例は、平成14年4月1日から施行します。  | この条例は、平成14年4月1日から施行します。   | この条例は、平成14年4月1日から施行します。                             |            |
| set へいせい ねん がつ かじょうれいだい ごうしょう 附則(平成24年12月10日 条 例第82号 抄) じょうれいちゅうだい じょう きてい へいせい ねん がつついたち                                  | ** そく へいせい ねん がつ かじょうれいだい ごうしょう 附則 (平成24年12月10日 条 例第82号 抄 )  「じょうれいちゅうだい じょう きてい へいせい ねん がつついたち | 附則(平成24年12月10日条例第82号抄)                              |            |
| 1 この条例中第1条の規定は、平成25年4月1日から   | しこう どうじょうちゅうせ た が や く こ じょうれいだい しょう   | しこう   |            |
| 施行します。ただし、同条中世田谷区子ども条例第2<br>しょう つぎ しょう くわ かいせいきてい だい じょう まい じょう<br>章の次に1章を加える改正規定(第19条から第23条ま                              | 施行します。ただし、同条中世田谷区子ども条例第2章<br>の次に1章を加える改正規定(第19条から第23条までに  | ら施行します。ただし、同条中世田谷区子ども条例<br>第2章の次に1章を加える改正規定(第19条から第 |            |
| かか ぶぶん かぎ きそく さだ ひ しこご   | かか ぶぶん かぎ きそく さだ ひ しこう  | 23条までに係る部分に限ります。)は、規則で定め                            |            |
| でに係る部分に限ります。)は、規則で定める日から施行<br>これでは、  |   | る日から施行します。(平成25年5月規則第64号で、                          |            |
| しより。 (千成25年3万成則第64万 C、同25年7万 1 日か<br>しょう<br>ら施行)   | ・ (十成25年5万成則第04万 (、同25年7月1日かり旭11)   | 同25年7月1日から施行)                                       |            |
| ****   | sel and mo n tujinnth ごう<br>附則(平成26年3月7日条例第14号)   | ゅそく<br>附則(平成26年3月7日条例第14号)                          |            |
| この条例は、平成26年4月1日から施行します。  | この条例は、平成26年4月1日から施行します。   | この条例は、平成26年4月1日から施行します。                             |            |
| set れいわ ねん がつ かじょうれいだい ごう<br>附則 (令和2年3月4日条例第11号)   | set   | ゕ゙゠゙<br>附則(令和2年3月4日条例第11号)                          |            |
| この条例は、令和2年4月1日から施行します。   | この条例は、令和2年4月1日から施行します。  | この条例は、令和2年4月1日から施行します。                              |            |
| ***  | ** * * * * * * * * * * * * * * * * * *  |   |            |
| (施行期日)   | この条例は、令和7年4月1日から施行します。  |   |            |
| 1 この条例は、令和7年4月1日から施行します。   |   |   |            |
| (世田谷区地域保健福祉推進条例の一部改正) せたがやくちいきほけんをくしすいしんじょうれい へいせい ねん がつせたがき   |   |   |            |
| せたがやくちいきほけんなくしずいしんじょうれい へいせい ねん がっせたがや         2 世田谷区地域保健福祉推進条例(平成8年3月世田谷         くじょうれいだい ごう いちぶ つぎ 区条例第7号)の一部を次のように改正する。 |   |   |            |
| 区条 例第7号)の一部を次のように改正する。<br>第28条第1項第4号中「世田谷区子ども条例」を「世  |   |   |            |
| 田谷区子どもの権利条例」に、「第19条」を「第29条」  |   |   |            |
| に改める。  |   |   |            |